

# 美濃市と世界が つながる瞬間

美濃市にホームステイをして、美濃和紙を使った芸術作品を制作する『美濃・紙の芸術村事業』。

今年度の招へいアーティスト

● ジーニー・ジャフェさん（アメリカ）

● マリス・キラーマンさん（ドイツ）

● 土井川まりさん（日本）

● アンニャ・マレーさん（南アフリカ）  
（アメリカ在住）

の4人が、美濃市を訪れてから、はや3カ月になろうとしています。

アーティストたちは、わずかな期間の中で美濃和紙あかりアート作品づくりや紙漉き体験を行い、美濃和紙について学びました。この経験を生かして12月4日（金）から、翌年の1月11日（月）まで美濃和紙の里会館で開催される「美濃・紙の芸術村作品展」に向けての制作活動に励んでいます。（また、同展には一昨年の招へいアーティストで、以後も美濃市に留まって制作活動を続ける五十嵐義郎さんも特別参加します。）

11月8日には、アーティストが作品の制作に利用している工房が公開され、4人のアーティストが、自分の作品の説明や美濃市への思いなどを語りました。

土井川さんは、美濃和紙の中でも最も薄い「典具帖紙」に、季節の花や昆虫などを描いた作品を見せてくれました。



10月28日には実務委員長を務める幅さん宅で、ちょうちん作りを体験しました。体験に参加したアンニャさんは、この日本の伝統的な「ものづくり」の工程をカメラに収めていました。



「紙の芸術村実務委員長になってどのくらいたちますか。」

「12年目になります。芸術村アーティストへのさまざまなサポートは、各実務委員に任せていますので、私は各実務委員が楽しんで活動できるよう支援に努めています。」

「ホストファミリーとして、アーティストを受け入れるようになったきっかけは。」

「以前に、外国の方に親切にされたことがあり、その恩返しになれば、と受け入れを始めました。世界中の人とわだかまりなく話せるのが魅力で、家族もやさしくなりました。」

「ホストファミリーとして、気をつけていることはありますか。」

「自分を飾らないことが第一です。無理をするとか疲れてしまうので、普段のままで接するようになっています。」

「今年度のアーティストの印象は。」

「制作に対して前向きです。今年の4人の作品は、市民の皆さんがすんなりとそれぞれのアートの世界に入れることができる。そのような印象を持っています。」

事業のサポートを行う「美濃・紙の芸術村実務委員」をまとめる幅英樹・実務委員長に話を聞きました。



美濃・紙の芸術村事業には、芸術作品の素材である「和紙」に触れ、「和紙」についてを学ぶという大きな目的があり、4人のアーティストは伝統的な紙漉きや1メートル四方を超える大判の和紙製作を体験しました。

マリスさんも、9月16日に美濃和紙の里会館で紙漉きにチャレンジしました。



美濃市へやってくるアーティストたちは、ワークショップ（体験型講座）を通して、市内の小中学生などと交流を行っています。

10月20日、中有知小学校で行われたワークショップに参加したジーニーさんは、6年生の児童たちと大きな貼り絵づくりを通して交流を深めました。



美濃市を訪れた早々に行われた歓迎会では、言葉や文化を超えて楽しむ姿を見ることができました。

はじめ、実務委員の「もてなしの心」には本当に感心させられ、この事業が、市民ボランティアによって支えられていることを実感します。

最も小柄でかわいらしいジーニーさん、笑顔が印象的なマリスさん、スカarfがとてもおしゃれなアンニャさん、繊細な絵に驚かされる土井川さん。この4人のアーティストを支える「美濃・紙の芸術村実務委員」のメンバーは、制作活動のサポート以外にも、一緒に食事をしたり、パーティを楽しんだり、仲良く交流しています。



# 美濃・紙の芸術村事業

「紙の芸術村事業の通訳として活動するようになったきっかけは。」

「広報みのに掲載されていたボランティア募集の記事を見て、輪を広げたいと思い参加しました。」

「とても流ちょうな英語はどちらで身に付けられたのですか。」

「英語は仕事で使うことが多く、自然に身に着きました。」

「紙の芸術村事業実務委員（ボランティア）の魅力を教えてください。」

「この事業で通訳を担当するようになって、日本語を英語に、英語を日本語に訳す面白さと英語を話す楽しさを改めて感じる事ができました。」

通訳は、日本と海外双方の知識を得ることができません。特に、この活動を通して、美濃和紙と美濃の紙文化も知ることができたのが、良かったと思っています。

また、他の実務委員をはじめ、色々な人と出会い、仲良くなることのできたのも、この事業の魅力のひとつだと思います。」



得意の語学力を生かし、「美濃・紙の芸術村事業」の通訳として、活動する田畑洋子さんに話を聞きました。